

一般公開される京都薬科大の薬用植物園御陵園。  
漢方薬などに使われる約320種を栽培している  
(京都市山科区)



## 薬用植物園 きょう公開

京薬大、初夏は初

京都薬科大は25日、約320種の薬草などを栽培する薬用植物園「御陵園」(京都市山科区御陵中筋町)を一般公開する。漢方薬や虫よけなどでなじみの植物が生育する様子を楽しむことができる。御陵園は2011年に作られ、学生の実習で使う。14年以降秋に一般公開日を設けており、市民からの要望を

受けて初めて初夏にも公開することにした。

トウキやカンゾウなど漢方薬、生薬に用いられる植物をはじめ、蚊取り線香の材料になるシロバナムシヨケギクが見られる。午前中の限られた時間のみ花が咲くというバニラもある。当日は教職員や学生が草花や用途について解説する。

開園は午前10時と午後2時からそれぞれ2時間(終了30分前までに入園)。無料。問い合わせは同大学075(595)4600。

(山田修裕)